

「グループ中国だい好き」会報

『中国だい好き』

我们很喜欢中国!

Women hen xihuan zhongguo!

●代表 内田知行 042-464-8858
〒203-0034東久留米市弥生2-7-13

●編集・発行グループ
内田知行 千田茂

●<http://medialab.o.oo7.jp/china/>(ホームページ)

●<http://www.kurukuru-ch.com/>(くるくる)

中国だい好き 2024年度第2回講演会

てんそく

纏足再考——足元から考える中国女性史——

日時：2024年6月16日（日） 13：30～15：30

場所：東久留米市東部地域センター 会議室

講師：石川照子さん（大妻女子大学比較文化学部教授）

参加費：無料

■講演内容

纏足は、3、4才の幼い時に女性の足を成長しないように緊縛した中国の風習で、明・清時代をピークに千年以上続きました。それは女性に大変な苦痛を与えましたが、一方で束縛した纏足は「美」の基準となり、主に母親など女性たち自身が「主体的」に施したのです。

このような纏足とは何を表象し、また女性たち自身にとっては何であったのでしょうか？

纏足の手順と影響、纏足の起源と拡大、反纏足運動の展開についてたどって、纏足の表象したものについて検討していきます。そして、女性の身体加工ということについて、みなさんと考えてみたいと思います。纏足とコルセット、ハイヒール、そこに共通するものがあるのでしょうか？



★講師自己紹介

石川照子（いしかわ てるこ）

大妻女子大学比較文化学部教授。中国近現代史（女性史、ジェンダー、キリスト教）専攻。中華民国時代の上海を中心とした女性の活動とキリスト教（YWCA等）、孫文夫人の宋慶齡の思想と活動、1920～40年代の日中女性関係史などの研究に取り組んでいます。

クラスの名称変更 総会の報告

2024年5月19日（日）、総会を市民プラザ（市役所）会議室で開催しました。2023年度の活動報告・会計報告と2024年度の活動計画・会計予算を承認しました。

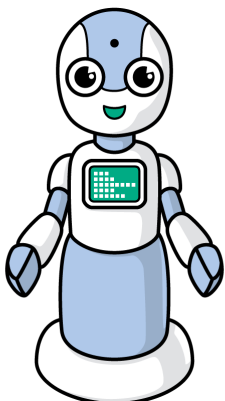
総会では、初級A（勝木節子先生担当、土曜日18:00～20:15）を「らくらく中国語」、初級B（任韶華先生担当、土曜日13:30～15:30）を「どんどん中国語」と名称変更することを決定しました。今後は、教室の使用申請も新名称で行なうこととなります。2つのクラスは、開講時間・教員と使用する教材・学習方針は異なりますが、ともに楽しく学べるクラスです。入会希望者には、1～2回聴講したうえで選択していただきます。もちろん同時聴講は大歓迎です。「らくらく」学習して「どんどん」向上していただきたいと思います。なお、中国語未修の入会希望者には別途「入門班」を開設して対応します。

北京で可愛いロボットと出会いました

真殿 仁美（城西大学現代政策学部教授）

2024年3月中旬から月末にかけて、文科省科学研究費を利用した学術調査のために北京に滞在しました。訪問先は、学生時代に留学した中国人民大学です。十数年ぶりの北京です。私が留学した1990年代の北京は、雑然としたなかで活気にあふれた町でした。当時は大学の周辺に多くの露店が所せましと並び、ゴミが散乱し、歩行者と自転車で混み合っていました。久しぶりの北京は大きく変貌していました。ここでは私が感じたそうした変化について紹介します。

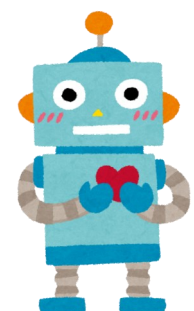
到着して2日目の早朝、宿泊したホテルの室内電話が鳴りました。寝ぼけ眼で電話に出ると、自動音声でドアを開けるようメッセージが流れてきました。ドアアイから外を見ると、見慣れない物体がドア前にあります。恐る恐るドアを開けると、その物体が可愛い表情で私を見ていました。なんとロボット（中国語で「機器人」と言います。漫画のドラえもんは「機器猫」です）で、このロボット君が私の荷物を部屋まで届けに来てくれたのです。私は彼を携帯で撮ったあと、丁寧にお礼を言いました。あとでホテルの人に尋ねたところ、ホテルでは3年前からロボットが働いているとのことでした。ハイテク機器の活躍に感銘しながら、人員の削減にもつながっているのかな、と思いました。



ハイテク機器は、市内各所に設けられた保安検査場でも大活躍しています。保安検査場の通過には身分証を提示する必要があり、写真撮影と身分証の読み込みを瞬時に行なう顔認証システムが運用されています。人民大学にも、正門を含むすべての出入口に保安検査場があります。大学構内に入入りするには、あらかじめ通信アプリの「微信」（ウィーチャット、中国のIT大手企業のテンセントが提供）を利用し、「平安人（民）大（学）」にアクセスして申請し、入構許可証を得る必要があります。このシステムの導入は、『北京日報』2023年12月28日に報じられていますから、最近導入されたものと思います。大学側は入構可能人数を決めているようで、設定人数を超えると、申請が拒否されてしまいます。学生や教職員を含めて、入構希望者は、出入口の保安検査場で顔認証システムによって確認されなければ入構できません。留学生時代には校門に数名ずつ守衛がいましたが、誰何も身分証の提示もなく、自由に往来できました。ハイテクIT技術による保安検査場の運用が、大学の自由な学びの空間保持のための保安システムであることを願わずにはいられません。

町中の変化についても紹介します。かつて歩道でさまざまな商品を並べていた露店商人は完全に消えてしまいました。散乱していた食べかすなどのごみもほとんどありません。変わって路上に見かけたのは、各種の配達車両、レンタル自転車、清掃車両です。注目すべきは、配達バイクの多さです。配達ボックスも市内のいたるところにあります。北京でも、物流ビジネスが急激に発展しているようです。清掃車両には小型化したEV車が多く、地下の歩道でも清掃や消毒の作業をしています。ドライバーの運転マナーも著しく向上しています。歩行者が横断歩道を渡ろうとすると、自動車は歩行者のために停車してくれます。こんな現象はかつての北京では見られませんでした。バスや地下鉄でも、人びとは整列乗車を行ない、座席の譲り合いをしています。乗客や運転者の交通マナーの向上には感心しました。これには、生活水準の上昇や精神的なゆとりが関係しているのだろう、と考えました。ちなみに近年の経済調査によると、一級行政区のうちで富裕世帯の比率が最も高いのが北京市、次いで広東省、上海市の順だそうです。生活の豊かさの上昇と人びとの行動や意識の変化とは密接な関係がある、と思います。他方で、管理社会化のシンボルともいえるべき保安検査場の増強は人びとの生活にどのようなインパクトを与えているのだろうか、と考えてしまいます。

【中国の社会福祉政策を研究する友人の真殿さんに最新北京レポートを寄せていただきました。
内田、2024年4月24日】



中国語に興味をお持ちの方、これから中国語を学びたいと思われる方に

———入門班への参加を歓迎いたします———

私たちの教室では、教材を利用した中国語クラスを3クラス、会話クラスを1クラス開いています。「らくらく中国語」クラスと「どンドン中国語」クラスはともに基礎中国語のクラスにあたります。ただし、ともに短くても1年間以上の既習者のクラスですので、これから中国語を学びたい方にはすこし「敷居が高い」かもしれません。そこで、そういう方を対象に「入門班」を随時不定期に開設しています。興味のある方は、会報編集担当者にお問い合わせください。

[1] 入門班の講師は、本会の代表・内田知行（大東文化大学名誉教授、同学国際関係学部で中国語を教えていました。現在は自由学園最高学部（大学部）の非常勤講師として中国語を教えています）です。

[2] 入門班は「らくらく中国語」または/および「どンドン中国語」クラスへの「導入クラス」で不定期（3か月～数か月間）に開設しています。マンツーマンで毎週1回、2時間開講を基準にします。

[3] 入門班参加者には、会の規定に従って毎月の会費（授業料）をいただきます。教材は講師が準備します。

中国語教室 生徒募集

クラス	講師	授業日時 教科書など	教室会場
らくらく中国語 大人の好奇心を刺激する中国語講座。 故事成語、神話、二十四節気、食べ物、麻雀、歴史など 中国の文化に触れていきます。	勝木 節子	土曜 18:00～20:15	ひばりが丘公民館
どンドン中国語 読む、書く、聞く、話す中国語の基礎を学びます。	任 韶華 (北京出身)	土曜 13:30～15:30 汉语听力速成 基础篇	生涯学習センター 中央町地区センター 八幡町地区センター
中 級 (時事中国語)	羅 敏	月曜 10:00～12:00 『時事中国語の教科書』	生涯学習センター 市民プラザ 東部地域センター
会話 (話そう朋友)	金野 蓓蕾 (上海出身)	火曜 10:00～12:00 自由会話+副教材	生涯学習センター 東部地域センター

入会金 1000円 年会費 1000円（新会員は入会金で充当）

運営費（月謝）1クラス月4,000円。他に会場費など諸経費がかかります。

各クラスとも授業見学を歓迎します！

● 問い合わせ zuixihuanzhongguo@gmail.com

● 広報 ホームページ <http://medialab.o.oo7.jp/china/>

くるくる <http://kuru-chan.com/>